

27 『銀河旋律』

○ジャンル／SF  
○ストーリー／タイムマシンが実用化された時代。柿本光介はテレビ局のアナウンサー。司会をつとめる「ニュース・プラネット」の本番中、突如、めまいに襲われる。タイムトラベラーによって過去が変更された人間は、めまいに襲われるのだ。柿本は直ちに恋人・春山はるかのもとに駆けつける。話し合いの結果、二人の出会いが半年遅くなったことが判明する。犯人は、はるかの子の元同僚のサルマルに違いない。柿本はサルマルが勤める時間管理局へ向かう……。

○出演者／男3＋女6＝計9  
○上演時間／60分

登場人物

柿本	(ニュースキャスター)
はるか	(高校教師)
ヨシノ	(ニュースキャスター)
アリマ	(レポーター)
タケチ	(高校二年)
オオツ	(高校二年)
クサカベ	(高校二年)
ヤマノウエ	(時間管理局員)
サルマル	(時間管理局員)

明るくなると、柿本とヨシノが並んで立っている。

二人

こんばんは。

柿本

ニュース・プラネットの時間です。

ヨシノ

政治経済、科学に教育、国際問題からご近所の噂話まで、ホットな話題を冷めないうちにお届けします。

柿本

司会は私、柿本光介と――

ヨシノ

サクラダヨシノです。

柿本

最後まで、ごゆっくりお楽しみください。

二人が頭を下げる。

ヨシノ

最初のニュースは、またタイムトラベル関係ですね？

柿本

総理大臣の諮問機関であります臨タ審、臨時タイムトラベル審議会は本日昼過ぎ、民間人のタイムトラベルに関する意見書をまとめ、安倍首相に提出しました。

ヨシノ

それによりますと、昨年五月の自由化以来、激増の一途をたどっている歴史改変は、日本の歴史そのものを破壊する恐れが非常に高いため、直ちに

柿本

民間人のタイムトラベルを禁止すべきであるという意見が、厳しい論調でうたわれています。

ヨシノ

安倍首相はこれを受けて、「国家規模の歴史改変は、いつ起こっても不思議ではない。日本の歴史を守るため、不転の決意で望みたい」と発言、タイムトラベル法改正へ向けて、全力を尽くす姿勢を示しました。

柿本

タイムトラベルを純粋に楽しんでいた人には、ちよつと残念なニュースです。ね。

ヨシノ

たとえば、坂本龍馬の好きな人なら、幕末の京都へ行って、生きている龍馬を一目見たいと思いますよね？ 見るだけなら別に構わないんですが、中には龍馬と握手したり、肩を組んで記念写真を撮ったりする人がいるんですよ。

ヨシノ

気持ちにはわかりますけどね。過去の人間と接触することは、タイムトラベル法で厳重に禁止されています。が、違反者は後を絶ちません。むしろ、接触するために行くという人も増えているんです。

ヨシノ

歴史を、故意に改変しようっていうんですか？

柿本

たとえば、今の奥さんに不満のある男性が、過去へ戻って、若い頃の自分に別の女性を紹介したとします。

ヨシノ

そんなことをしたら、今の奥さんは？

柿本

他の男性と結婚することになるでしょう。

ヨシノ

ということは、慰謝料なしで離婚ができるわけだ。

柿本

そのかわり、タイムトラベルにお金がかかりますけどね。一回につき、最低百万。

ヨシノ

柿本

ヨシノ

柿本

ヨシノ

柿本

ヨシノ

柿本

ヨシノ

柿本

ヨシノ

柿本

ヨシノ

百万で人生がやり直せるなら、安い買い物ですよ。だから、お金に余裕のある人は、自分の思い通りの人生が手に入るまで、タイムトラベルを繰り返すわけです。

でも、そんなことをされたら、奥さんだって黙っちゃいないでしょう。時間管理局に訴えるんじゃないですか？

旦那さんのしていることに気づけばね。しかし、中には、気づかない人もいるんですよ。

自分の旦那が別人になって、気づかない人がいますか？  
変更された人は、その瞬間にめまいに襲われるんですが、眠っていたらわからないうちに。変更される前の記憶は、一時間ぐらいしか残ってないから、目覚めた時にはすっかり忘れていきます。

ということは、奥さんがお昼寝してる間がチャンスなんですけどね？  
途中で目が覚めて、時間管理局に訴えたとしても、勝てるかどうかは五分です。何しろこの犯罪には、証拠というものが全く残らない。変更された人の記憶だけが頼りなんです。それも一時間で消えてしまうから、

変を立証するのは、非常に難しいようですよ。  
だから、後を絶たないわけですか。

考えれば考えるほど、恐ろしい犯罪ですね。

自分の人生が、自分の思い通りに変えられるっていうのは、ちょっと魅力的ですけどね。

僕はそうは思いません。今の自分に不満があるなら、今、何とかすればいいじゃないですか。

それができないから、過去へ戻るんですよ。

柿本

周りの人間はどうなるんです。自分の人生が、自分の知らない間に変えられてしまうんですよ。

ヨシノ

さっきの例で言えば、奥さんの立場ですネ？

柿本

今まで一緒にいた人が、どこかへ消えてしまってますよ。

ヨシノ

もしかして、柿本さんにもそういう経験があるんですか？

柿本

今のも例です。例ですが、もし消えてしまったら、一体僕はどうすればいいの——

突然、柿本がよろめく。

ヨシノ

柿本さん！（柿本を支えて）大丈夫ですか？

柿本

：：ちよつとめまいがしただけです。

ヨシノ

めまいって、まさか。

柿本

僕の過去が、また改変されたんです。ちよつと失礼。

柿本が走り去る。

ヨシノ

柿本さん！番組の途中なのよ！柿本さん！（正面を向いて）今まで一緒にいた人が、どこかへ消えてしまいました。しかし、番組を途中でやめるわけにはいきません。それでは、次のニュース。先日、文部省の学術調査隊が奈良時代へタイムトラベルして、録音してきた、千二百年前の音楽について。

タケチ・オオツ・クサカベがやってくる。反対側から、はるかがやってくる。

クサカベ

はるか

タケチ

オオツ

クサカベ

はるか

クサカベ

はるか

クサカベ

タケチ

クサカベ

タケチ

先生、起きたりして大丈夫なんですか？

平気平気。もう何ともない。

いきなり倒れるからビックリしたんですよ。私たち三人で保健室まで運んだんですからね。

結構重かったよね。

（はるかに）今日は帰った方がいいですよ。練習はまた明日ってことで。

ダメよダメよ。卒業式まで、あと二週間しかないのよ。

でも、先生にもしものことがあったら、ご両親になんてお詫びすればいいんですか？ かわりに私が娘になりますって言うんですか？ そんなこと

言ったら、今度は私の両親が悲しむだろうし――

余計な心配はしないの。ちよつとめまいがしただけよ。

とにかく、今日は大事を取って、家へ帰って、寝てください。

クサカベさん、あなた部長のくせに、やけに練習を終わらせたがるわね。

この後、何か用事でもあるわけ？

別に。

じゃ、このまま真っ直ぐ家へ帰るの？

クサカベ

タケチ

クサカベ

タケチ

クサカベ

タケチ

はるか

オオツ

クサカベ

タケチ

クサカベ

タケチ

クサカベ

タケチ

クサカベ

オオツ

もちろんよ。私、小学校から今まで、道草なんてお下品なもの、一回も喰ったことない。

それじゃ、これは渡しに行かないんだ。(紙を出す)

何よ、それ？

(紙を読む)「君待つと、わが恋ひをればわが屋戸の――」

ギヤーツ！(紙を奪い取る)

クサカベさん、私たちに黙ってそういう物を書くってないんじゃない？

そういう物って？

ラブレターですよ。

まさか！ラブレターなんて古臭い物、私が書くと思う？

普段だったら書かないだろうけど、今日はバレンタインデー。チョコレターにその手紙を添えて、誰かにプレゼントするつもりなんでしよう？

バカなこと言わないでよ。私たち三人で約束したじゃない。バレンタインなんて安易な方法で、男をつかむのはやめよう。ロツテや森永や明治の商

業戦略に引つかかるなって。

でも、これは明治じゃないの？(チョコを出す)

ギヤーツ！(チョコを奪い取って)ひどいじゃないの！きれいにラップ

ングしてもらったのに！

ひどいのはどっちよ。約束を破ったら、私たちの友情は終わりよって言ったくせに。

だって、卒業式まで二週間しかないのよ。卒業しちやったら、もう二度と

会えなくなるじゃない。

あんた、三年生が好きだったの？





タケチ  
はるか  
タケチ  
クサカベ  
はるか  
オオツ  
クサカベ  
タケチ  
クサカベ  
はるか  
二人

（クサカベに）何が何だかわからないじゃないの。  
あなたがいらっしやるのを今か今かと恋しくお待ちしていると、私の家の  
戸口のすだれを揺らして、秋風が吹いてまいります。

さすが教師。

だてに年喰ってないわ。

でもね、クサカベさん。額田王っていう人は、天智天皇と天武天皇が兄弟  
で奪い合いをしたっていうくらい、絶世の美女なのよ。

そんな美女の作った歌を、私が贈ったら変ですか？

（オオツに）どう思う？

変。悪いけど、変。

先生もそう思ってるんですね？

クサカベさん、先生の思いやりがわからないの？ 先生は、あなたの気持

ちはわかるけど、無駄なことはやめろって、遠回しに言ってるのよ。

好きでしたって、一言言うくらい、いいじゃない。

そうね。卒業して、二度と会えなくなるとしたら、一言ぐらいはね。

先生！

そこへ、柿本が飛び出す。

柿本  
はるか  
柿本  
はるか  
柿本  
はるか  
はるか  
タケチ  
タケチ  
オオツ  
タケチ  
柿本  
クサカベ  
オオツ  
タケチ  
クサカベ

はるか！  
柿本君！　こんな時間にどうしたの？　番組は？  
早退してきた。  
早退？　そんなことしちゃって、大丈夫なの？  
ヨシノさんが一人で何とかしてくれてるさ。それより、はるか――  
あの、先生！  
はい、タケチさん。  
つかぬことをお聞きしますが、そちらにいらっしゃる男性は、毎晩六時に七チャンネルで――  
「こんばんは、ニュース・プラネットの時間です」  
ってやってる柿本光介さんですか？  
あ、君たち、音楽部の生徒さん？　いつもはるかがお世話になってます。  
キヤー！　しゃべったー！  
テレビとそっくりよ！  
当たり前よ、ホンモノなんだから！  
先生！

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

はるか  
はるか

柿本

はるか

柿本

はるか

柿本

はるか

柿本

はるか

柿本

はるか

柿本

たのよ。ついさっきまで、保健室で寝てたの。

もう七時を回ってる。急いでチェックしないと、何を改変されたか、わからなくなるぞ。落ち着いて、最初から思い出してみよう。僕らが初めて会ったのは？

私たちが初めて会ったのは、三年前のコンサート。

三年前の何月何日？

確か、九月の終わり頃で、小沢征爾がマーラーをやったやつ。

ちよつと待て。三月の間違いじゃないか？

九月よ。体育祭の次の日が振り替え休日で、一人で行ったんだもの。

違うだろう？ 僕がチケットを取って、二人で行ったんだ。

一人で行ったのよ。そうしたら、隣の席に座った男が、いきなり話しかけてきたのよ。

誰だ、その男は。

それが柿本君だったんでしよう？ 「お一人ですか」って言おうとして訛っちゃって、「お太りですか」って言ったのよ。

違う違う！ あの日は確か、君が遅刻してきたんだ。途中の休憩の時に、

「お腹が空いた、腹ぺこだ」って歌いながら現れた。

初めて会った人に、そんな歌、歌うわけないでしょう？

だから、僕らが初めて会ったのは、三月なんだよ。朝比奈隆がブルックナーをやったやつ。

それ、私、行けなかったのよ。

他の先生たちと、五人ぐらいで来たじゃないか。始まる前にハンバーガーを食べて、コーラをこぼして、僕のズボンをビショビショにしたんだ。

柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか  
柿本 はるか

行つてもいないのに、どうしてそんなことができるのよ。  
：なるほどね。  
なるほどって？  
僕らの歴史が半年も消されたんだ。  
それじゃ、やっぱり、改変される前は三月に出会ってたの？  
よく思い出してごらん。三月のコンサートに行けなくなったのはどうして  
だい？  
そんなの覚えてない。  
じっくり考えてみて。サルマルが何かしただろう。  
：：：そうよ。あの日は確か、理科の実験室で火事が起きたのよ。火事って  
言つても小火みたいなので、消防車なんか呼ばなかったけど。発見した  
のが、隣の準備室にいたサルマル先生だった。  
火事を起こして、君をコンサートに行けなくしたんだ。  
あれは、残つて実験をやつた生徒が、薬品を間違えて——  
ビンの中身が入れ換わつたとしたら。  
まさか、そんなこと……。  
この前、改変された時だつて、サルマルが関係してたじゃないか。間違い  
ない。僕らの過去を二度も変えたのは、サルマルなんだ。  
私たちが出会わないようにするために？  
君が三月のコンサートに来られなかったおかげで、僕らは一生、出会えな  
かつたかもしれないんだ。  
でも、九月のコンサートで出会えたじゃない。  
出会えたから良かった。でも、もしまた過去を改変されたら、今度は出会

はるか  
柿本

えなくなるかもしれない。  
大丈夫よ。どんなに過去を変えられたって、私たちは必ず出会う。  
どこにそんな保証があるんだ。ニユース・キャスターと高校教師なんて、  
全く別の世界の人間じゃないか。

はるか  
柿本

音楽が私たちを会わせてくれる。  
偶然が二度も三度も続くとは思えないよ。調べておいてくれたかい、サル  
マルの居場所。

はるか  
柿本

それがね、去年、学校を辞めてから、すぐに別の所へ就職したらしいの。  
どこへ。

はるか  
柿本

…：時間管理局。  
なるほどね。あそこの人間だったら、ただでタイムトラベルできるわけだ。  
(走り出す)

はるか  
柿本

どこへ行くの？  
(立ち止まって) こうなったら、本人に会って、もうやめてくれて頼む  
しかないだろう？

はるか  
柿本

サルマルさんが認めるわけないわ。  
このまま黙って、一人ぼっちになるよりはマシさ。

はるか

柿本が走り去る。はるかがポケットから包みを出す。  
「秋山の樹の下がくり逝く水の吾こそ益さめ思ほすよりは」

そこへ、タケチ・オオツ・クサカベがやってくる。

クサカベ

はるか

タケチ

オオツ

はるか

クサカベ

はるか

クサカベ

オオツ

はるか

鏡王女。秋山の木の下を隠れて流れゆく水のようにならわには見えませ  
んが、私のあなたを思う気持ちはもつと強いのですよ。あなたの思うより  
も。

立ち聞きしてたの？

先生、その手に持つてるものはなんですか？

(はるかに)まさか、その年でチョコを渡そうっていうんじゃないでしょ

うね？

いいでしょう？ 私だって、女の子なんだから。

でも、先生。鏡王女って、額田王のお姉さんですよ。ということ、や

っぱりかなりの美女だったわけでしょう？

そんな美女の作った歌を、私が贈ったら変？

(オオツに)どう思う？

変。悪いけど変。

私もそう思ったから、今日は渡さなかったの。

柿本とヤマノウエがやってくる。

ヤマノウエ　こちらの営業は七時までなんですよ。もう帰っちゃったかもしれないな。すみません、こんな時間に。

ヤマノウエ　あなた、本当に柿本光介じゃないんですか？

柿本　違いますよ。よく似てるって言われるけど。

ヤマノウエ　隠してもダメですよ。私、ニュース・プラネットは毎日欠かさず見てるんです。いつもビデオに録画して。

柿本　ニュースなんか録画して、おもしろいですか？

ヤマノウエ　私、サクラダヨシノさんのファンなんです。

柿本　それじゃ、ヨシノさんの顔ばかり見てて、柿本の顔はろくに見てないでしょう。

そう言えばそうだ。どうせ大した顔じゃないし。

ところで、サルマルさんて、どんなお仕事をなさってるんですか？

随行員ですよ、私と同じ。

随行員？

法律で決まっていますね。トラベラー一人つきに一人ずつ、随行員がつかなくちゃいけないんです。



柿本  
ヤマノウエ

監視役ですか。  
トラベラーが素直な人なら、楽なんですけどね。中には言うことを聞か  
なかつたり、嘘をついてどこかへ行っちゃう人がいるんです。疲れる仕事で  
すよ。

柿本  
ヤマノウエ

でも、ただでタイムトラベルできるんだから、楽しいでしょう。  
それはそうなんですよね。今日は三十年前に行ったんで、若い頃のおふく  
ろに会って来ました。

柿本

トラベラーを放っておいて？

ヤマノウエ

：：今の話、聞かなかつたことにしてくれませんか？

柿本

でも、聞いてちやつたから。

ヤマノウエ

歴史改変をするような人じゃなかつたんですよ。後樂園球場へ行つて、現  
役時代の長島茂雄が見たいっていうだけだったから。

柿本

それで、お母さんはどうでした。

ヤマノウエ

：：今の私よりずっと若くて、私が言うのもなんだけど、結構キレイでし  
た。でも、ちよつと太り気味かなって思つたら、どうやらおなかに赤ちや  
んがいたみたいで……。

柿本

それがあなただったんですね？

ヤマノウエ

男の子なら、プロ野球の選手にしたいって言つて言つてました。そんなこと、私  
には一言も言つてくれなかつたのに。（奥に向かつて）サルマルさん！

そこへ、サルマルがやつてくる。

ヤマノウエ

お客さんですよ。柿本光介のそっくりさん。

ヤマノウエが去る。

サルマル

そっくりさんじゃなくて、本物ですね？

柿本

わかりますか。

サルマル

何度もテレビで見えますからね。それに、はるかさんがあなたの話をよく

柿本

してたから。

サルマル

どんなふうに。

柿本

あの人、声が大きいかから、職員室にいと、いやでも耳に入ってくるんで

サルマル

すよ。「昨日、柿本さんとデートしちゃった」とか。

柿本

それで、僕らの過去に詳しいんですか。

サルマル

え？

柿本

いや、何でもありません。

サルマル

結婚はまだなさらないんですか？

柿本

そういう話はまだ。

サルマル

三年も付き合ってるのに？ まさか、そんなつもりは初めからないって言

柿本

うんじやないでしょうね？

サルマル

とんでもない！

柿本

芸能人ていうのは、結婚がマイナスになる場合が多いでしょう。あなたな

サルマル

んか独身で売ってるわけだし。

柿本

僕は芸能人じゃありませんよ。プライバシーをとやかく言われたら、辞め

サルマル

るつもりです。

サルマル

それを聞いて安心しました。正直言うと、あなたがいい加減なやつだった



サルマル 柿本 サルマル 柿本 サルマル 柿本  
サルマル 柿本 サルマル 柿本 サルマル 柿本  
サルマル 柿本 サルマル 柿本 サルマル 柿本

そうです。ノー・トラブル。  
でも、現に、僕の過去は変わったんですよ。  
随行員が気づかないうちに、何か起きたのかな。そうになると、調べるのは  
難しいですよ。

随行員が改変するってことはないんですか。

どういう意味ですか？

トラベラーは随行員が監視してるけど、随行員は誰にも監視されてないで  
しょう。

うちにはそんなバカなやつはいませんよ。

あなたはどの時代へ行ったんですか。

まさか、僕を疑ってるんですか？

潔白なら、答えられるはずでしょう？

三年前ですよ。でもね、これは僕が行きたくて選んだわけじゃない。僕は

ついていっただけなんだ。

三年前に行くトラベラーを待ってたんでしよう。

それ以上無礼なことを言うと、怒りますよ。

怒りたいのはこっちですよ。他人の過去を勝手にいじくりまわして、何が

おもしろいんだ！

失礼。(歩き出す)

サルマルさん。

(立ち止まる)

もうやめてください。はるかかの幸せを誰よりも願っているなら。  
「小竹の葉はみ山もさやに乱れども吾は妹おもふ別れ来ぬれば」

サルマルが去る。

柿本

…  
…  
…意味がわからない。

柿本とヨシノが並んで立っている。

柿本 さて、最後はお天気です。

ヨシノ 三月に入っても、雨や曇りの日が続いていて、なかなか春らしい陽気にな

りませんね。

柿本 今日も一日雨でしたが、明日の予報はどうなんでしょうか。

ヨシノ 屋上のアリマさん！

二人と離れた所に、アリマが立っている。手に傘。

アリマ はい、こちら屋上です。

柿本 雨はまだ降ってるみたいですね。

アリマ 番組が始まった頃から、霧雨になってきました。もうそろそろやむと思

います。

柿本 でも、寒いでしょう。

アリマ 寒いです。

ヨシノ スタジオは暖房がきいてて、とっても暖かいですよ。

アリマ とってももうらやましいです。

柿本

ヨシノ

柿本

アリマ

ヨシノ

アリマ

ヨシノ

ヨシノ

柿本

ヨシノ

柿本

アリマ

柿本

そう言えば、うちの局はどうして気象予報士予を雇わないんでしょうね。今時、局アナが天気予報をやってる所なんて、うちぐらいのもですよ。たぶん、予算の都合じゃないですか？

(アリマに)よし、僕が部長に掛け合っただけであげましょう。気象予報士を雇うお金がないなら、せめてアリマさんをスタジオの中に入れてやれって。ありがとうございます。でも、そういうことは、冬が来る前に言っただけで済んだらいいです。

春が待ち遠しかったでしょう。今でも待ち遠しいです。

柿本人麻呂の歌にもこんなのがありますよ。「ひさかたの天の香具山この夕べかすみたなびく春立つらしも」

すみません。私、古典は苦手なんです。

あら、それはダメよ。アナウンサーは、原稿さえうまく読めればそれでいいって仕事じゃないんですよ。テレビをご覧の皆さんに、「なるほどね」って思っただけのようなら、豊かな教養がなくちゃ。そうですね、柿本さん？

下手をしたら、いやみになりますけどね。で、今の歌の意味は？

夕暮れ時、香具山にうつすらとかすみなたなびいている。ああ、春が来るんだなあ。

春を待つ心は、昔も今も変わらないんですね。勉強になりましたね、アリマさん。

すみません、唇が凍りつく前に仕事をすませたいんですが。すっかり忘れてました。それでは明日のお天気、お願いします。

アリマ

それではまず、明日の朝、午前六時の予想天気図をご覧ください。太平洋側に張り出していた低気圧が、明日は三陸沖へ移動して、大陸側の高気圧が西日本に張り出してきます――

アリマの声が小さくなる。

柿本

ヨシノさん、万葉集は詳しいんですか？

ヨシノ

詳しいってほどじゃないけど、有名な歌はね。

柿本

それじゃ、こういうの知ってます？「小竹の葉は――

ヨシノ

ちよつと待ってよ。あなた、私を試すつもり？

柿本

そうじゃなくて、意味を知りたいんですよ。「小竹の葉はみ山もさやに：

：、何だっけな。

ヨシノ

「み山もさやに乱れども吾は妹おもふ別れ来ぬれば」

柿本

それですそれです。有名な歌なんですか？

ヨシノ

これも人麻呂の歌よ。

柿本

で、その意味は？

ヨシノ

笹の葉は、山全体を揺らすように風に乱れても、私は乱れずにひたすら妻

を思っている。別れてきたのだから。

柿本

サルマルめ、あんな偉そうなこと言っておいて、やっぱりあいつの仕業だ

ヨシノ

ったんだ――

柿本

何をブツブツ言ってるの？ そろそろ天気予報が終わるわよ。

ヨシノ

あいつはまだ諦めてない。いつかははるかを自分のものにしてやるって、

柿本

僕に言いたかったんだ――



ヨシノ

柿本くん！

突然、柿本とヨシノがよろめく。

アリマ

というわけで、朝のうちは雲が残りますが、午後には春らしい穏やかな天候になる模様です。都内では、卒業式を予定している学校も多いようですが、晴れ着が濡れる心配はなさそうですね。以上です、柿本さん。

柿本

(まだふらついている)

アリマ

柿本さん。どうかしたんですか？ 柿本さん！

柿本

：：僕の過去が、また改変されたんです。しかも、今度はかなり大きい。ちよつと失礼。

柿本が行こうとすると、ヨシノが腕をつかむ。

ヨシノ

突然ですが、ここで非常に残念なお話をしなければなりません。

柿本

ヨシノさん、放してください。

ヨシノ

実は私、サクラダヨシノは、今夜限りで皆さんとお別れすることになりました。

柿本

ヨシノさん。

ヨシノ

逃げるんじゃないの。

柿本

大事な用事があるんですよ。

ヨシノ

こっちの方がもっと大事でしょう？

柿本

こっちの方って？

ヨシノ

今まで隠していて、ごめんなさい。実は私、来月結婚するんです。ここに

柿本

えっ？

ヨシノ

さあ、柿本さんから何か一言。

柿本

僕とヨシノさんが結婚？

ヨシノ

そうよ。

柿本

やりやがったな、サルマル！

柿本が走り去る。

ヨシノ

柿本さん！  
（ファイアンセを置いてどこへ行くの？）  
この続きは、また明日。

柿本さん！  
（正面を向い

柿本が飛び出す。後を追って、ヨシノが飛び出す。

ヨシノ

待ってよ、柿本君！

柿本

すみません、ちよつと急いでるんで。

ヨシノ

その前に、一言謝りなさいよ。このまま逃げるなんて卑怯じゃない。

柿本

僕が何を謝るんです。

ヨシノ

さっきの態度よ。私たちの結婚を発表した時。打ち合わせと全然違ったじゃない。

柿本

知りませんよ、打ち合わせなんて。

ヨシノ

とぼけないですよ。「ヨシノさんのことは僕に任せてください、必ず幸せに

柿本

してみせます」って、カメラに向かって宣言するって言ったでしよう？

ヨシノ

僕が？

柿本

胸をドーンと叩いて、「僕だって男ですからね、やるときやりますよ」

ヨシノ

って威張ったじゃない。

柿本

そう言えばそんな記憶も……。

ヨシノ

それが何よ、さっきのザマは。結婚するなんて、初めて聞いたって顔しち

柿本

やっつて。

柿本

初めて聞いたんですよ。

ヨシノ

柿本

何ですって？  
過去が改変されたんですよ。ほんの五分前までは、僕らは結婚するような関係じゃなかったんです。ほら、さっきめまいがしたでしょう？

ヨシノ

柿本

：あれが歴史改変だったの？  
ヨシノさん、初めてですよ？ だったら、落ち着いて、よく考えてみてください。頭の中に、二通りの記憶があるでしょう。僕とつきあい始めて、結婚を決意するって記憶と、もう一つ。

ヨシノ

柿本

男なんかなんだ、日本一のニュース・キャスターになってやるって、頑張ってる私。

柿本

ヨシノ

そうですよ。改変される前のヨシノさんは、そういう人だったんです。バリバリ仕事をして、僕なんかまるで子供扱いだった。

柿本

ヨシノ

そうよ。ほんの五分前までは、私は一人で生きてたのよ。  
それが本当のヨシノさんなんです。僕なんかと結婚するなんて、全然ヨシノさんらしくない。

ヨシノ

柿本

誰が私の過去を変えたの？  
僕には結婚したい人がいるんです。でも、それが気に喰わないやつがいて、僕らを別れさせようとしているんです。

ヨシノ

柿本

それがサルマルって人？  
歴史改変もこれが三度目。そして、とうとう、僕らは別れさせられてしまった。

ヨシノ

柿本

その人のおかげで、私の過去も変えられたんだ。  
前の記憶は一時間もしたら、消えてしまっただけです。その前に何とかしないと、大変なことになる。

ヨシノ 柿本 ヨシノ 柿本 ヨシノ 柿本 ヨシノ 柿本 ヨシノ 柿本 ヨシノ 柿本 ヨシノ 柿本 ヨシノ 柿本 ヨシノ

大変なことって？

僕はまだ、はるかとお出合っていないですよ。早く出会わないと、彼女のこ  
とを忘れてしまうんだ。

忘れたくないの？

もちろんですよ。ほんの五分前までは、結婚したい人だったんだ。

でも、今は、私と結婚したいんでしょう？

：：新しい記憶ではそうです。

覚えてる？ 去年の私の誕生日。十一時過ぎまで仕事をして、疲れ切つて  
たのに、二人でパーティをやりましょうって、食事に誘ってくれたじゃない。

でも、ヨシノさんは、彼女がやきもちやくわよって断った。

それは前の記憶。新しい方では、飯なんかより酒飲もうぜって、朝まで一

緒につきあわせたじゃない。

ヨシノさん、お酒強いから。

あれから、ちよくちよく、二人で飲みに行くようになったのよね。

それで、僕も、ヨシノさんは仕事がすべての人じゃないってわかったんで

すよね。

プロポーズしたのはあなたなのよ。覚えてる？

こんな僕でよかつたらって言いました。

私も、こんな私でよかつたらって。

覚えてます。ヨシノさんのことは全部覚えてます。だけど、はるかのこと

とも忘れられないんです。

過去はもう変わってしまったのよ。あなたの過去には、もうはるかなんて

柿本  
ヨシノ  
柿本  
ヨシノ  
柿本

人はいないのよ。  
でも、僕は覚えてます。  
そんな記憶、一時間もすれば消えるんでしょう？  
消したくないから、はるかを探したいんです。  
私はどうなるのよ。今の私にはあなたが必要なのよ。  
僕だって、はるかが必要なんです。

柿本が走り去る。

ヨシノ

「わが背子を大和へ遣ると小夜更けて暁露にわが立ち濡れし」

クサカベがやってくる。手には紙を持っている。

クサカベ

大伯皇女。私の愛する人が大和へ帰るので、夜更けに出発を見送り、そのまま立ちつくしているうちに、暁の露に濡れてしまいました。

そこへ、タケチとオオツがやってくる。

タケチ

何なのよ、それは。

クサカベ

やめて！ この手紙にだけは触らないで！

タケチ

クサカベさん、またラブレター？ 全くあなたも懲りないわね。

オオツ

(クサカベに) 今度は誰に出そうっていうの？

クサカベ

決まっているでしょう？ オオトモ先輩。

タケチ

またオオトモ先輩？ あなた、まだ諦めてなかったの？

クサカベ

どうして諦めなくちゃいけないのよ。私はただ、好きでしたって、一言言

オオツ

いたただけなのよ。バレンタインの時は？ チョコは受け取ってもらえなかったの？

タケチ

(クサカベに) 「そんなのいらねえよ」って突っ返されたんでしよう？

クサカベ

そうじゃなくて、渡しに行かなかったの。

タケチ  
クサカベ

オオツ

クサカベ

タケチ  
クサカベ

タケチ

オオツ

クサカベ

タケチ

オオツ

クサカベ

オオツ

クサカベ

タケチ

クサカベ

そこへ、柿本が飛び出す。

何よ。あんな偉そうなこと言っておいて、渡す度胸もないんじゃない。何言ってるのよ。手紙はクシヤクシヤ、ラツピングはビリビリ。あんなみっともないものを、渡せるわけないでしょう？

で、また新しいのを用意したわけだ。

明日は卒業式じゃない。大きな花束に手紙を添えて、オオトモ先輩にプレゼントするの。

花束はいいとして、どうしてまた短歌なのよ。

だって、今の私の気持ちにぴったりなんだもん。卒業していく先輩を、一人見送る淋しい私。

クサカベさん、万葉集なんかでカッコつけしないで、直接口で言ったらどう？好きでしたって言うだけなら、三秒で済むじゃない。

そんなこと、先輩に面と向かって言える？

言えるよ。

(クサカベに) 何なら、私が代わりに言っておあげようか？

どうしてオオツさんが代わりに言うのよ。まさか、オオトモ先輩のことが

好きなんじゃないでしょうね？

好きよ。

えーっ！ タケチさんは？

愛してるわ。

えーっ！



柿本

はるか！

三人が振り返る。

柿本

あ、君たち、この前も会ったよね？ はるか先生はどこにいるか知ってる？

タケチ

…柿本光介？

柿本

そうだよ。二週間ぐらい前に、ここで会っただろう？

クサカベ

キヤー、喋った！

オオツ

テレビとそっくりよ！

タケチ

当たり前よ、ホンモノなんだから！

柿本

そうか、この前、会った時の記憶はなくしてるんだ。

タケチ

ねえねえ、柿本さん。今日は何のお仕事ですか？

オオツ

私たちの合唱を取材に来たんじゃないの？

クサカベ

(柿本に) インタビューなら、部長の私がお答えしましょう。

タケチ

ちよつと待って。そう言えば、さっき、はるかかって言わなかった？

オオツ

イヤだ、呼び捨て？

クサカベ

男が女を呼び捨てにする時、そこには愛が——

柿本

そうじゃなくて、昔からの友達なんだよ。

クサカベ

なんだ、友達か。

柿本

それで、はるか先生は？

タケチ

辞めましたよ、一年前に。

柿本

辞めた？ どうして？

タケチ

結婚したんですよ。家事に専念するって言ってました。

クサカベ

オオツ

柿本

タケチ

柿本

クサカベ

女はやっぱり家庭よね。

あら、そういう考え方がいつまでも男を甘えさせるのよ。

誰と結婚したんだい？

そんなことも知らないんですか？ あなた、本当にはるか先生の友達？

教えてくれよ。誰と結婚したんだ。

理科のサルマル先生よ。サルマル先生も、はるか先生と一緒に辞めちゃつ

たけど。

：：：そうか。

事務室に行けば、住所がわかると思えますよ。

ありがとうございます。

柿本が去る。

タケチ

オオツ

三人

クサカベ

何だかとてもショックだったみたいね。

はるか先生のことが好きだったのかな。

まさかねえ。

でも、とっても淋しそうだった。







柿本

はるか

柿本

はるか

柿本

はるか

柿本

はるか

そんなもの、必要ない。

その人はどうなるの？ その人には、柿本君が必要じゃないの？

他のヤツなんかどうでもいいじゃないか。僕には君が必要なんだ。

ごめんなさい。

はるか！

もう電話しないで。会いにも来ないで。

はるか！

テレビ、毎日見てるから。

はるかが受話器を置き、去る。柿本が文庫本を取り出して読む。

柿本

「秋山の黄葉を茂み迷ひぬる妹を求めむ山道知らずも」

サルマルがやってくる。

サルマル

あれ？ ニュース・プラネットの柿本光介さんじゃないですか。こんな所へ何しに来たんですか？ もしかして、取材か何か？

柿本

今日は仕事じゃありません。

サルマル

まさか、タイムトラベルをしたって言うんじゃないでしょうね。

柿本

そうです。そのために来たんです。

サルマル

へえー、あなたがね。

柿本

今すぐトラベルしたいんですが。

サルマル

それは無理だ。一カ月先まで予約がいっぱいなんですよ。

柿本

何とかありませんか。急にキャンセルした人とかいないんですか？

サルマル

そんな話は聞いてないですね。

柿本

調べてください、一応。

サルマル

どんな事情か知らないけど、うちは民間企業じゃないんだ。あなたがいくら有名な人だって、特別扱いするわけにはいかないんですよ。

柿本

僕は特別扱いしてくれなんて言っていない。ただ、調べてくれて言ってるんです。お願いします。（頭を下げる）

サルマル

…わかりましたよ。調べるだけなら、五分で済むし。でも、あんまり期待しないでくださいよ。（歩き出す）

サルマル

待たないでくださいよ。（歩き出す）

そこへ、ヨシノがやってくる。

ヨシノ

柿本君。

柿本

ヨシノさん。(サルマルに) すみません。先に行つてもらえますか。

サルマルが去る。

柿本

どうしたんですか、ヨシノさん。

ヨシノ

部長に聞いたわ。あなた、今朝、辞表を出したんだって？

柿本

残念ながら、受け取ってはもらえませんでした。

ヨシノ

当たり前よ。タイムトラベルしたいから、今すぐ退職金をくれなんて。

柿本

まさか、部長に言われて、ここへ来たんですか？ 僕を連れ戻してこいっ

ヨシノ

て。違うわ。私は私の意志で来たのよ。あなたのことが心配だったから。

柿本

すみません。でも、僕の気持ちは変わりませんよ。お金の方は、車とマン

ヨシノ

ションを売って、用意しました。慌てて売ったんで、大した額にはならな

柿本

かったけど。それから、貯金を下ろして、両親や友達から借りて。

ヨシノ

そんなことまでして、はるかさんを取り戻したいの？

柿本

ええ。

ヨシノ

一回でうまくいくとは限らないでしょう？ 失敗したらどうするの？

柿本

失敗なんかできませんよ。

ヨシノ

どうして断言できるのよ。



柿本

出会ってしまえばいいんです。はるかがサルマルと出会う前に。三年前の

ヨシノ

九月の、体育祭より前に行って、はるかにすべてを話してしまえば。はるかさんの気持ちが変わらなかつたら？

ヨシノ

変わらぬわけがない。話せば、はるかはおかしくなってくれる。過去にいられるのは、たったの一時間でしよう？ そんなに短い時間で、

柿本

何が話せるっていうの？

ヨシノ

一時間もあれば、充分です。

柿本

もし失敗したら、あなたには何も残らないのよ。仕事をなくして、家をなくして……

柿本

……ヨシノさんも、それでもいいの？

サルマル

（頷く）

柿本

そこへ、サルマルがやってくる。

サルマル

やっぱりダメですね。五時の回も六時の回も、予約した人は全員来てました。

柿本

その人たちに会わせてください。

サルマル

会ってどうするんですか。

柿本

替わってもらえないかって、頼むんですよ。本人の承諾があれば構わないでしょう？

サルマル

皆さん、一カ月もこの日を待ってたんですよ。今さら替わってくれって言

そこへ、ヤマノウエがやってくる。

ヤマノウエ

サルサル

ヤマノウエ

柿本

サルマル

柿本

サルマル

ヤマノウエ

柿本

ヤマノウエ

柿本

ヤマノウエ

柿本

ヤマノウエ

サルマル

ヤマノウエ

サルマル

ヤマノウエ

サルマルさん、三号機の予約の人、まだ来てないですか？

何言ってるんだ。レクチャールームにいただろう。

いませんでしたよ。トラベル前のレクチャーに間に合わなかったってことは、キャンセルと見なしていいんですよね？

サルマルさん。

おかしいな。全員いたと思ったんだけど。

その三号機に、僕が乗っても構いませんか？

あと五分しかありませんからね、今から急につけてわけには――

構わないんじゃないですか？ 三号機は私が担当ですから、私が特別に許可しましょう。あれ？（柿本とよしの顔を見て）あなた、もしかして、

ニユース・プラネットの柿本光介？

そうですか。

悪いけど、許可は取り消します。

どうしてですか？

昨日の放送見ましたよ。あなた、結婚するんでしょう？ そこにいる、サ

クラダヨシノさんと。

いいえ、結婚はしないことになりました。

そうなんですか？ だったら、やっぱり許可します。さあ、どうぞ。

ちよつと、ヤマノウエくん！

何か？

サルマル

ヤマノウエ

柿本

ヤマノウエ

柿本

サルマル

柿本

ヤマノウエ

柿本

ヨシノ

柿本

ヨシノ

柿本

ヨシノ

サルマル

ヤマノウエ

勝手なことをされちゃ、困るな。一応、時間まで待つてみないと、キャンセルかどうか、わからないだろう？

あと四分しかないじゃないですか。（柿本に）で、いつの時代へ行きたいんですか？

三年前の九月です。

料金は前払いになりますけど。

一応、一千万、用意してきました。

一千万で三年前に？ 柿本さん、旅行の前にはしっかり予算を立ててほしいな。

足りないんですか？

一千万だと、せいぜい十カ月前までしか行けませんね。

十カ月前？ それじゃ、もう遅いんだ。三年前に戻れなくちゃ、何の意味もないんだ。

どうしても三年前でなくちゃダメなの？

さっき話をしたでしょう。三年前の九月に、はるかはいつと出会うんです。そして、一年前の三月、学校を辞めて、結婚する。

それなら、一年だけ戻ったら？ 結婚する直前に。

十カ月しか戻れないんですよ。

（ヤマノウエに）十カ月しか戻れないのは、滞在時間が一時間だからよね？

もし一年戻ったら、滞在時間は？

滞在時間は一時間で決まってるんですよ。

トラベラーが迷子になって、二時間や三時間てのはよくある話です。短く

なったって、問題はないでしょう。

サルマル  
ヨシノウエ  
ヤマノウエ  
ヨシノウエ  
柿本  
ヨシノウエ  
柿本

規則は規則だろう？  
（ヤマノウエに）一千万で一年戻るとしたら、滞在時間は？  
きっかり、四十五分。  
柿本くん。  
：：ヨシノさん。  
成功なんか、祈らないからね。  
行ってきます。一年前の三月へ。

柿本とヤマノウエが去る。

柿本とヤマノウエが飛び出す。

ヤマノウエ　いいですか？　一年前の自分に会っても、絶対に話しかけちゃダメですよ。

柿本　わかってます。

ヤマノウエ　自分だけじゃなくて、他の人にもダメですよ。

柿本　もし、逆に話しかけられたら？

ヤマノウエ　走って逃げるんです。

柿本　そんなことしたら、怪しまれませんか？

ヤマノウエ　話をしちゃったら、過去が変わるでしょう。いつでも走れる準備をしてお

柿本　いてください。

柿本　ウサイン・ボルトが話しかけてきたら、どうしましょう。走っても逃げき

れないな。

ヤマノウエ　あなた、彼と知り合いなんですか？

柿本　いいえ。

そこへ、アリマがやってくる。

アリマ　おはようございます。

柿本 あ、おはよう。

ヤマノウエ (柿本を叩く)

アリマ 柿本さん、ちよつと聞いてくださいよ。

柿本とヤマノウエが逃げる。

アリマ ねえ、柿本さん。柿本さんてば。

柿本とヤマノウエが逃げる。

アリマ ひどい。どうして無視するんですか？

柿本がヤマノウエを見る。ヤマノウエが渋々頷く。

柿本 無視なんかしてないよ。最近、年のせいか耳が遠くなっちゃって。

アリマ そちらの方は？

柿本 田舎から出てきたおじさん——

ヤマノウエ (柿本を叩く)

柿本 |——の息子。つまり、いとこだね。スタジオを見学したいんだって。

アリマ そうなんですか。(ヤマノウエに) はじめまして、アナウンス部のアリマヨ

ウコです。

ヤマノウエ

アリマ どうも。そんなことより、聞いてくださいよ、柿本さん。私、来月からニュース・

柿本 プラネットのレギュラーになるんです。  
天気予報だろう？

アリマ あら、柿本さん、知ってたんですか？

柿本 いや、僕は前から、君がやったらいいだろうなって思ってたんだ。

アリマ 本当に？ 今まで、お天気お姉さんをやった人たちちって、キレイな人ばっ

かりでしょう？ まさか、私なんかやれるなんて……。

柿本 何を言ってるんだ。君はキレイだよ。

アリマ イヤだ、そんなこと言われたの初めて。でも、私って、みにくいアヒルの

子だったんですね。知らない間に白鳥になってたんですね。

柿本 (小声で) アリマくん、ちよつと頼みがあるんだけど。

アリマ 何ですか？

柿本 これを、僕に渡してくれないかな。(紙を渡す)

アリマ 柿本さんに？ はい。(紙を差し出す)

柿本 そうじゃなくて、後で。

アリマ 変なの。自分で自分に手紙を出すなんて。

ヤマノウエ (柿本に) 何をしてるんですか？

柿本 別に何にも。

ヤマノウエ 光介、俺、他のスタジオも見てみたいな。

柿本 そうか。(アリマに) じゃ、僕、この人を案内してくるから。

そこへ、ヨシノがやってくる。

ヨシノ おはよう！





柿本とヤマノウエが去る。

ヨシノ  
で、部長になんて言われたの？  
それがすごいんです。私、来月からニュース・プラネットのレギュラーに  
なります。

ヨシノ  
どうせ天気予報か何かでしょう？

ヨシノ  
どうせ？ お天気お姉さんで、どうせなんですか？

ヨシノ  
あれはね、顔だけキレイで頭がカラッポの子がやるのよ。

ヨシノ  
頭がカラッポ？

ヨシノ  
で、あなたは何をやることになったの？

ヨシノ  
非常に言いにくい状況になりました。

そこへ、柿本がやってくる。

柿本  
おはようございます。

ヨシノ  
おはよう。あれ、挨拶はさつきしなかったっけ？

ヨシノ  
柿本さん、これ、今、渡すんでいいんですか？

ヨシノ  
何だい、それ？

ヨシノ  
さつき渡せって言ったでしょう？（紙を渡す）

ヨシノ  
僕が？（紙を開いて）「ヨシノさんのことは諦める。君にはいざれ出会う  
人がいる。それまで絶対に結婚するな。君が出会う人の名は、はるか。春

ヨシノ  
山はるか」  
柿本君、そろそろ打ち合わせしない？

柿本

…  
…はるか？  
はるか、  
誰だ？

はるか・タケチ・オオツ・クサカベがやってくる。

1 1

タケチ

はるか

タケチ

クサカベ

はるか

タケチ

はるか

オオツ

タケチ

はるか

オオツ

クサカベ

はるか

クサカベ

はるか

クサカベ

先生、学校を辞めるって本当ですか？

誰に聞いたの、そんなこと。

誰だっけいいじゃないですか。問題は、先生が辞めるか辞めないかです。

(はるかに)みんなに言いくいなら、部長の私だけに言ってください。

別に隠してたわけじゃないのよ。私は今月いっぱい、この学校を辞めま

す。

よその学校へ移るんですか？

そうじゃなくて、先生の仕事そのものを辞めるの。

それじゃ、サルマル先生が言ったのは、本当のことなんですわね？

バカ！

サルマル先生がなんて言ったの？

：はるか先生と結婚するって。

私たちが「絶対に信じられない」って言ったなら、「嘘だと思えば、本人

に聞いてみる」って。

どうして嘘だと思ったの？

だって、先生が好きなのは、ニュース・プラネットの柿本光介みたいな人

タケチ  
はるか  
オオツ  
クサカベ  
はるか  
タケチ  
はるか  
オオツ  
はるか  
クサカベ

なんでしよう？  
柿本光介とサルマル先生じゃ、全然タイプが違うじゃないですか。  
いくら好きだつて、出会わなければ、結婚できないでしょう。  
そんなのわからないですよ。  
先生、好きなら、最後まで諦めちゃダメですよ。  
サルマル先生だつて、とつても素敵な人じゃない。  
心の底から、そう思ってますか？  
思ってるわよ。  
絶対に後悔しませんか？  
しないしない。  
誰かがどこかで、先生のことを待っているとは思わないんですか？

そこへ、柿本が飛び出す。後を追って、ヤマノウエが飛び出す。

柿本  
ヤマノウエ  
タケチ  
ヤマノウエ  
クサカベ  
オオツ  
はるか  
柿本  
ヤマノウエ

はるか！  
柿本さん！ 話しかけちゃいけないって言ったでしょう！  
：：ニユース・プラネットの柿本光介？  
もう時間です。行きましょう。（柿本をつかむ）  
柿本光介が、「はるか！」だつて。  
先生、知り合いなの？  
まさか：：。  
はるか。  
柿本さん、法律違反ですよ。（柿本を引っ張る）

柿本  
ヤマノウエ  
柿本  
ヤマノウエ  
ヤマノウエ  
柿本  
ヤマノウエ  
柿本  
ヤマノウエ  
ヤマノウエ

ヤマノウエが柿本を放す。

一言だけでいいんですよ。  
その一言が歴史改変につながるんですよ。  
あなただって、改変したじゃないですか。  
私が？  
三十年前にタイムトラベルした時、お母さんに会いに行っただけでしょう。  
：：：どうして知ってるんですか？  
その時、お母さんと話をしてきたでしょう。  
ほんの一言だけです。別に過去は変わらなかった。  
僕は過去を変えたいんじゃない。もう一度、彼女に会いたいだけなんです。  
：：：わかりました。でも、本当に一言だけです。

柿本  
はるか  
柿本  
ヤマノウエ  
柿本  
ヤマノウエ  
ヤマノウエ  
柿本  
ヤマノウエ  
はるか  
柿本  
はるか

春山はるかさんですね？  
：：：ええ。  
はじめまして、柿本光介です。  
さあ、もういいでしょう。  
好きでした。会うのは今日が初めてだけど、ずっとずっと好きでした。  
柿本さん！（柿本をつかむ）  
僕はただ、あなたと出会いたくて――  
さあ！（柿本を引っ張る）  
（柿本に）私のこと、知ってるんですか？  
「秋山の黄葉を茂み迷ひぬる――」

ヤマノウエと柿本が走り去る。

はるか  
タケチ  
はるか

「――妹を求めむ山道知らずも」  
「……今の、本当に柿本光介？」  
（首を横に振って）柿本人麻呂よ。

柿本とヨシノが並んで立っている。

二人

こんばんは。

柿本

ニュース・プラネットの時間です。

ヨシノ

政治経済、科学に教育、国際問題からご近所の噂話まで、ホットな話題を冷めないうちにお届けします。

柿本

司会は私、柿本光介と――

ヨシノ

サクラダヨシノです。

柿本

最後まで、ごゆっくりお楽しみください。

二人が頭を下げる。

ヨシノ

最初のニュースは、またタイムトラベル関係ですね？

柿本

安倍首相は本日午前九時、首相官邸で緊急の記者会見を行い、民間人のタイムトラベルを無期限に停止すると発表しました。

ヨシノ

記者団の質問に答えて、安倍首相は、「国家規模の歴史改変が発生してしまった以上、国会の審議を待たずに停止するのはやむをえない」と発言。国民に対して、強く理解を呼びかけました。

柿本  
ヨシノ  
柿本  
ヨシノ  
柿本  
ヨシノ  
ヨシノ  
柿本  
ヨシノ  
柿本  
ヨシノ  
柿本  
ヨシノ  
ヨシノ

これによりまして、時間管理局は、本日九時からタイムマシンの運転を停止し、国会の審議を待って閉鎖される模様です。  
昨日の歴史改変は、テレビをご覧の皆さんが経験したと思いますが、覚えていらっしゃるでしょうか。  
夕方の五時頃でしたね。  
前の記憶を失くしている方は、意外に思われるかもしれませんが、現在一万円札になつてゐる坂本龍馬は、一八六七年に暗殺されていたんですね。  
以前の歴史ではそうだったんです。現在の歴史の教科書に載つてゐるように、明治憲法を作つたり、日本最初の総理大臣になつたりはしてゐなかつたんです。  
明治時代に龍馬がいなかつたなんて、信じられませんよね。  
龍馬を好きな人にとつては、前の歴史より今の歴史の方がいいでしょう。  
が、龍馬が長生きしたおかげで、伊藤博文は総理大臣になれなかつた。歴史改変によつて幸せになる人もいれば、不幸せになる人もいます。  
そんなふうになると、タイムトラベルの停止はやむをえなかつたのかも  
しれませんね。  
さて、三月と言いますと、卒業式のシーズンですね。  
今日は朝から晴れ上がつて、絶好の卒業式日和になりました。  
日本全国で、「仰げば尊し」や「蛍の光」が歌われたわけですね。  
その中で、今日は一つ、風変わりな歌を歌つた学校をご紹介します。  
風変わりと言いますと？  
先日、文部省の学術調査隊が、奈良時代へタイムトラベルして、当時の音楽を録音してきましたよね？



柿本  
ヨシノ

この番組でもレポートしましたね。  
あの曲を、卒業式で歌った学校があるんです。今、レポーターのアリマさんが、そちらに行っています。アリマさん！

別の場所に、  
アリマ・タケチ・オオツ・クサカベが現れる。

アリマ

はい、私が今来ていますのは、世田谷にあります、私立の飛鳥高校です。こちらの音楽部の生徒さんが、奈良時代の歌を歌ったわけです。こんにちは。

三人

こんばんは。

アリマ

えーと、部長さんは、どなたですか？

クサカベ

(ニコニコして) 私です。

アリマ

千二百年も前の歌を歌うのは、難しくなかったですか？

クサカベ

(ニコニコして) とっても難しかったです。

アリマ

どれくらい練習したんですか？

クサカベ

(ニコニコして) たくさん練習しました。

アリマ

奈良時代の歌を歌おうって提案したのは、あなたですか？

クサカベ

(ニコニコして) 違います。

アリマ

じゃ、どなたですか？

クサカベ

(ニコニコして) 顧問の春山先生です。

アリマ

さつきから、やけにうれしそうですね。

クサカベ

(ニコニコして) わかります？

アリマ

合唱が大成功に終わったからですか？

クサカベ  
アリマ  
クサカベ  
アリマ

(ニコニコして) いいえ、これです。  
何ですか、これは？  
(ニコニコして) オオトモ先輩にもらったんです。第二ボタン！  
それでは、顧問の春山先生にインタビューしてみましよう。春山先生。

そこへ、はるかがやってくる。

アリマ  
はるか  
アリマ  
はるか  
アリマ  
はるか  
アリマ  
はるか  
柿本

こんばんは。  
こんにちは。  
奈良時代の歌を歌おうって提案したのは、先生だそうですね？  
ええ。  
何か特別な理由でもあるんですか？  
特別ってほどでもないですけど、絵や文字と違って、音楽だけは歴史に残りませんよね？  
確かに、レコードやテープが発明される前の音楽は、楽譜という形でしか残ってませんね。  
音楽は、流れると同時に消えてしまいます。だから、人の心の中にしか残れないんです。  
千二百年前の音楽は、千二百年前の人たちと一緒に消えてしまっただ。でも、その人たちの心の中には、ずっと残っていたんです。どんなに年を取って、顔や姿が変わっても、心が変わらないう限り、音楽だけは残る。そのことを、卒業していく生徒たちに知ってほしかったんです。  
アリマさん、ちよつといいですか？

アリマ  
柿本　　はい、どうぞ。  
柿本　　春山はるかさんですか？  
はるか　　：：ええ。  
柿本　　はじめまして、柿本光介です。  
はるか　　初めてじゃありません。一年前にお会いしました。  
柿本　　覚えてたんですか。  
はるか　　ええ。  
柿本　　失礼ですけど、今、結婚していらっしゃいますか？  
はるか　　いいえ。  
柿本　　しなかつたんですか？　　どうして？  
はるか　　一度はしようと思っただけです。でも、誰かが私を待っているような気がして。

柿本　　待っていたんです、一年前から。いや、三年前から。いや、もっともつと  
柿本　　ずっと前から。あなたに出会うために。

柿本が、はるかに向かって歩き出す。そして、はるかも。